KOSÉ

NEWS RELEASE

2014.11.28

公益財団法人 コスメトロジー研究振興財団
第 25 回表彰･贈呈式を開催

株式会社コーセー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林　一俊）が社会貢献事業のひとつとして支援を行っている公益財団法人コスメトロジー研究振興財団（所在地：東京都中央区、理事長：小林保清〔現コーセー名誉会長〕）は 11 月 27 日、「第 25 回表彰･贈呈式」を日本薬学会長井記念ホール（東京都渋谷区）にて開催しました。

コスメトロジー研究振興財団は、コスメトロジー（化粧品学）に関する調査研究に対する助成を行うことにより、広く国民の保健衛生の向上を図り、美しく豊かな人間生活の実現に寄与することを目的として、1990年に株式会社コーセーの創業者である小林孝三郎により設立されました。以来、例年研究課題を募集、関連分野の第一人者の選考委員による審査を行い、特に優れた課題を表彰、研究助成を行っています。

第 25 回目となる今年度は、全国の主要大学、病院、公的研究機関からの過去最高となる応募 125 件に対して厳正な審査を行い、特に優れた化粧品関連の研究課題 32 件の表彰を行いました。また今年度、他に学術集会支援助成 1 件も行っています。

■ 第25回　コスメトロジー研究振興財団　表彰・助成実績

○ 研究助成

応募総数		**125件**	
表彰件数			
	１）素材、物性に関する分野	**9件**	
	２）生体作用、安全性に関する分野	**15件**	
	３）精神、文化に関する分野	**8件**	**計 32件**
助成金総額	**2,800万円**	**（１件あたり100万円、または50万円）**	

○ 学術集会支援助成　　**1件**

小林保清理事長

表彰・贈呈式で小林保清理事長は、「当財団は、コーセーを創業した小林孝三郎が化粧品業界の永続的な発展に対する想いから平成 2 年に設立し、以来研究助成は今回25回目を迎え、これまでの応募総数は2,000件を超えました。助成件数は540件を超え、助成金額の累計は6億円以上となりました。今回、過去最高の応募数の中から助成課題を選ばせていただきましたが、最近は高齢化、国際化などの社会背景を見据えたテーマや先端的な技術の開発が目立っています。科学技術と社会が協調し、価値を創造する時代が来ていることは明らかであり、当助成事業が化粧品産業の発展と人間の美しさ、豊かさに貢献できればこれほど嬉しいことはありません。」と挨拶しました。

山﨑幹夫選考委員長

選考委員を代表して山﨑幹夫氏（元新潟薬科大学学長）は、今回の選考経過について、「過去最高の125件の応募課題の中から、選考委員の先生方により、独創性や発展性、実用の可能性、コスメトロジーへの波及性といった視点で採点のうえ、コスメトロジーの将来発展に期待できるユニークな課題との視点から推薦いただき、さる9月25日の選考委員会で慎重な審議を行い候補者を選定しました。選考経過全体を通じて感じたことは、当財団の趣旨を理解いただき、研究の質的内容も年々レベルの高い課題が増えるなか、領域を跨いだ研究も多くなり、選考も難しくなっている点です。 受賞された先生方の研究が立派な成果を得られることを期待します。」と述べました。

また、来賓としてお迎えした厚生労働省医薬食品局　審査管理課　国際医薬審査情報分析官　植村展生氏に祝辞を頂戴しました。

記念講演　昭和大　塩田教授

表彰・贈呈式後に行われた記念講演では、昭和大学医学部教授の塩田清二氏が、自身の研究テーマから、「〈香り〉はなぜ脳に効くのか　～認知症の予防・改善について～」という演題で、古代ローマ時代に始まるアロマテラピーの歴史や、最近の研究成果としての香りを知覚するメカニズム、認知症の症状を軽減する効果によるQOL（Quality of　Life）向上などについて、わかりやすく講演されました。

記念講演の後には懇親会も、同会場にて和やかな雰囲気のなかで行われました。

なお次回の第26回研究助成の募集開始は、2015年5月を予定しており、同財団のウェブサイトで告知します。

※公益財団法人コスメトロジー研究振興財団　　URL：　http://www.cosmetology.or.jp/

各表彰研究課題の概要等についても、ご覧になれます。